



吹田西ロータリークラブ

国際ロータリー第2660地区

ウィークリー 2019-2020



創立 1980.6.12
 事務所 〒564-0051 吹田市豊津町9番40号 カリーノ江坂1階 TEL06-6338-0832 FAX06-6338-0020
 URL <http://www.suita-west-rc.org> E-mail src@jasmine.ocn.ne.jp
 例会場 新大阪江坂東急REIホテル TEL06-6338-0109 例会日 毎月曜日 18:00~19:00
 会長: 橋本徹也 幹事: 堀 豊 会報委員長: 榎原一滋

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会

第1744回例会 令和元年9月9日
 今週の歌 「証城寺の狸ばやし」
 卓話 「40周年記念講演会
 熱いハートを燃やせTOKYO2020」
 1964東京五輪出場
 メキシコ五輪銅メダル得点王 釜本 邦茂氏

前回の記録

会長挨拶 橋本(徹)会長

サンダリディルシャーニ ヴィターナゲーさんようこそ! 後ほど卓話もよろしく願いいたします。

9月のロータリーのテーマは、「基本教育と識字率の向上月間」、「ロータリーの友月間」です。9月8日が国際識字デーとなっていますので、世界中で式典が行われるようです。日本で識字率の向上といってもなかなか理解しにくいのですが、ロータリーの友9月号で、「言葉が人の未来を育てる」世界には、貧困や紛争、学校が近くにないといったさまざまな理由から学校に行けない子供(6~14歳)が約1億2,000万人。教育の機会が得られず、大人になっても文字の読み書きが出来ない人が7億5,000万人以上(15歳以上の6人に1人)いるとのこと。そして、貧困の原因ともなるそうした状況を改善するための活動が紹介されています。世界で色々な奉仕活動がありますが、この教育の奉仕活動が広がれば、自分たちで、他の問題を解決していけるようになるように思えます。識字率向上がもっとも大事なテーマだと思います。

日本で9月といえば、9月1日関東大震災が発生した日で、防災の日になっています。昨日吹田市でもその日に合わせ防災訓練が行われました。私も参加して

次回の例会

第1745回例会 令和元年9月30日
 今週の歌 「我等の生業」
 卓話 「民法改正について
 『相続税法改正のポイント』」
 矢倉 昌子 会員

まいりました。昨年9月4日台風21号、9月30日台風24号が大阪を直撃しました。防災予防の月として準備しておきましょう。

いよいよ来週、9月9日の記念講演例会です。皆様のおかげで、いろんな方面から参加して頂けます、家族も含め、ロータリーを知って頂ける機会にしたいと思っておりますので皆様よろしく願いいたします。

40周年記念式典まで272日です。

第1743回例会よろしく願いいたします。

ゲスト紹介

親睦活動委員会 塚脇副委員長

ゲストスピーカーとして

米山奨学生のサンダリ様にお越しいただいております。

幹事報告

堀幹事

1. 9月度誕生月のお祝いの品をお渡しします。



2. ロータリーの友9月号をお配りしました。
3. 米山奨学生のサンダリさんへ奨学金の授与がごぞいます。
4. 事務局は9月9日、13時より出勤しますのでよろしくお願ひします。

出席報告 出席委員会 阿部委員長

- 会 員 数 50名 出席会員数 43名
- 来 客 1名 本日の出席率 93.48%
- 8月5日の出席率（メーキャップ含む）100%

40周年実行委員会 紙谷幹事

吹田西ロータリークラブ ビジョン作成のためのアンケートの締め切りは次回例会の9月9日となります。皆さん忘れないように提出お願ひ致します。

国際奉仕委員会 西村委員長

来年6月6-10日のハワイ・ホノルル国際大会において、第2660地区大阪ナイトが6日(土)18時よりザ・カハラ・ホテル&リゾートで開催されます。登録料は一人15,000円で12月15日までにクラブでまとめて申し込みます。ご参加される方は11月末までに例会受付の申込用紙にご記入よろしくお願ひします。

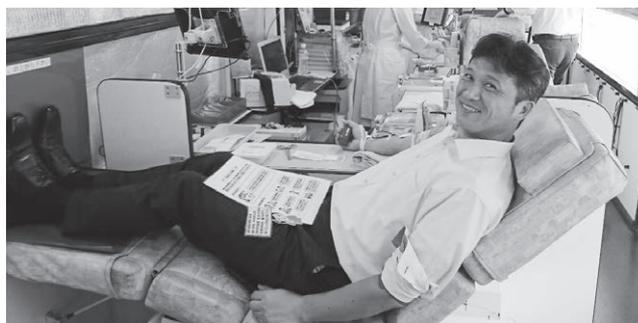
なお、まだこれからフライト、ホテルの手配をされる予定の場合は、泉州電業で社員旅行のお世話をさせていただいている日本旅行の関西法人営業部 山上裕司氏をご紹介しますのでよろしくお願ひします。

(山上氏連絡先 電話 06-6621-4125、
メール yuji_yamagami@nta.co.jp)

社会奉仕委員会 清水(良)委員長

8月27日(火)ビケンテクノ様において、献血活動が行われました。午前の部において橋本会長、堀幹事、河邊会員、清水(大)会員、清水(良)会員の5人が参加し、午後の部において本田会員、阪本会員、角谷会員の3人が参加しました。またビケンテクノ様から36人、泉州電業様から2人、その他4人でクラブメンバーを含め50人の方にご参加いただきました。

ご参加の皆様、また会場ご対応のビケンテクノ様、梶山パスト会長、誠にありがとうございました。



「大阪府無事故・無違反チャレンジコンテスト」について、ご記入まだの方はご記入のご協力お願ひいたします。

ところで、今年も集中豪雨などの災害が発生している地域がありこの度第2660地区から「長崎・佐賀豪雨災害」義捐金のご協力のお願ひがありました。募金箱を回しますのご協力お願ひいたします。

皆さんの義捐金額が合計43,000円になりました。ご協力ありがとうございました。

ニコニコ箱 村井SAA

- 本田会員 次回欠席いたします。お寺の寄り合いで。
- 塚脇会員 今月もよろしくお願ひ致します。
- 島倉会員 紅ゆずるさん、ありがとう。

本日のニコニコ箱	9,000円
累計のニコニコ箱	259,000円
累計ニコニコB	4,000円

米山記念奨学会委員会 長屋委員長

橋本(徹)会長、村井会員、宮川会員より特別寄付をいただきました。ご協力ありがとうございました。

10月は米山月間です。

青少年奉仕委員会 清水(大)委員長

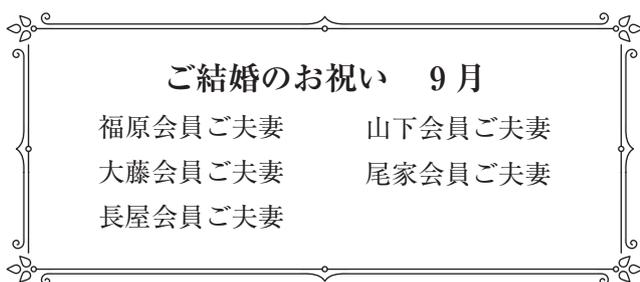
第2660地区 秋のRYLAセミナーご案内

回覧をしておりますので、ご検討の程何卒よろしくお願ひ申し上げます。

- ・研修日程 2019年11月2日(土)、3日(日)、4日(月・祝)
- ・研修場所 サントリー箕面トレーニングセンター
- ・参加対象 国際ロータリー第2660地区内各ロータリークラブの推薦による18歳から30歳までの青年男女、並びにローターアクト、財団

奨学生、米山奨学生など（但し、外国籍の参加者は日本語で対応できる方）

- ・定員 50名
- ・受講料 参加青少年受講料 1名 12,000円
ロータリアン受講料(全日参加) 1名 12,000円
ロータリアン登録料(日帰り参加) 1名 3,000円
(日帰り参加とは、宿飲食を伴わなければ何度でも参加できます)
- ・申込期限 2019年9月30日(月)



米山記念奨学会 報告
米山記念奨学会 委員長 長屋委員長
米山記念奨学生
サンダリディルシャーニ ヴィターナゲー 様



本日、自己紹介も含めて私の日本での生活についてお話ししたいと思います。私は皆さんお一人お一人の寄付のお金で生活することができています。大変感謝しております。

まず私はなぜ日本に留学したかについてお話しします。

中学の時選択科目で初めて日本語を選びました。なぜ日本語なのかというと、私の学校では当時フランス語と日本語しか選択できませんでした。そしてそのい

ずれか選択する際に私は日本の方が親しいと思って日本語を選びました。

日本というと、桜、折紙、着物、そして何でもすることが早い日本人というイメージしかなかったです。当時の日本語を教えてくれた先生はスリランカ人の女性でした。私が初めて日本のことを好きになったきっかけは、その先生の影響です。スリランカ人の他の先生と違い、教え方や性格が合いました。その先生はまるで日本人みたいになんでも早く、綺麗に、真剣にしていました。そのことがあって、私は絶対に日本へ行ってみたいと思うようになったのです。

一生懸命日本語も勉強しましたが、高校に進学すると数学、化学と物理学を専攻したので、日本語は忘れるようになってしまいました。それでも、日本に留学したいという強い気持ちがあることを両親も分かってくれていましたので、結局2015年に日本に帰ることができました。

次に私が日本で経験したこと、驚いたことについてお話しします。

当時、大阪には私を含めて6人が留学しました。成田空港に着いてから伊丹空港に着きました。でも迎えに来る予定だった人たちは誰もいませんでした。連絡も取れなくて、最初ワクワクしていた私の心がだんだん不安で一杯になりました。誰も日本語が話せない、みんな初めての日本、寮まで行き方も分からないという状態でした。どうしようもないのでとりあえず片言日本語でも喋ろうと思って、タクシーの運転手さんを見つけて住所を見せて「ここに行きます」と言いました。その後、運転手さんがしゃべったことは残念ながら一切理解できなく、なんでも「はいはい」しか返事をしない状態でした。このとき、大事なことに気づきました。それは、日本にいる限りは絶対日本語を勉強しないとダメということです。

次に人生の初アルバイトのことです。日本に来て一ヶ月も経たない時に、日本語学校からアルバイトを紹介してもらえました。それは病院の制服などを洗う工場でした。そこで大変驚きました。工場に入るとも

のすごい音、そして働いていた半分以上の人が高齢者でした。みんなロボットみたいに同じ仕事を繰り返していました。その時、頭のなかでは日本人=歳をとったロボットみたいなイメージしか思い浮かばなかったのです。スリランカでは若者は年輩の人を助けます。例えば重いものを運ぶ時は絶対に若い人がこれを手伝います。なので、いっしょに年輩の人と働く時はすごく不安に感じました。でも日本では歳に関係なくみんな一生懸命働くことに感動しました。

日本語学校の授業の時間が変わったので、工場の仕事は半年ぐらいしか出来なかったのですが、その間は家の近くのコンビニでも働いていました。コンビニの決まり言葉「いらっしゃいませ。」「ありがとうございました。」はお客様が出入りする時は言うのが普通ですね。私はただそれを言いながらジュースの補充をしていたところ、そこに50歳ぐらいの社員が来て、「あなたは日本語も上手だし、一生懸命働いている姿に感動します。頑張ってください。」とっていました。そして、レジに立っているとほとんどのお客様からは「あなたは日本語上手ですね。」と言われました。私は、決まり言葉しか言ってないのにそれを日本人が褒めるので、日本人=嘘つく人と思いました。いまだに日本人の本音と建て前の違いがわかりません。でも不思議なことで、私も後輩の留学生に出会う時に思わず「日本語が上手ですね。」と言ってしまうのです。

もちろん日本ではいいことばかりではなかったのです。辛かったことも沢山あります。まず、最初にショックを受けたことがバイト先でのトイレ掃除を頼まれた時です。日本では普通ですが、スリランカでは自分の家以外のトイレの掃除などはしないです。そのための職種は別にあります。ところが日本ではどんな仕事でも同じ価値、どんな仕事も大切という考え方があり、とても素晴らしいと思いました。今は普通に何も思わずトイレ掃除などをしますが、正直最初はすご

く泣きました。いまだに両親はそれを知らないです。もし両親に言うなら「トイレ掃除なんてするために留学させたんじゃない。やめなさい。」と言うかもしれません。

次に、先週26日から30日までの5日間私はエバオン株式会社のインターンシップに行ってきました。ほかのインターンシップとは違い、ここでは社会人としての準備を学んできました。スリランカでは学生であろうと社会人であろうとあまり違いがないです。でも日本社会ではすごく差があります。4日目はペアで飛び込み営業訪問することになりました。全然うまくいかなかったが社会人の行動がすごく違うということが気づきました。言葉遣いや行動も違います。お客様を第一に考えられることもすごく感動しました。どんなことがあっても頭を下げてお客様を大事にする心は日本人にしかないと思います。

私は日本に来てまだ4年目です。沢山のことを経験し、沢山のことをこれからも経験したいと思います。親元から離れて日本で生活することがとても大変です。でも私は日本が好きだから留学しました。よく考えてみると日本語を教えられた先生の性格をはじめ、私は日本人の心に惹かれています。仕事に対する真剣さも、本音と建前の使い分けも、お客様を第一にすることも、日本人ならではのものではないでしょうか。どんなに理解しようと思ってもすぐにはわかりません。でも、思わず他人を褒めてしまう自分自身や、何も考えずに黙々とトイレ掃除する自分も、日本人の心をほんの少しわかってきているのではないかと思います。

今年から吹田西ロータリーのメンバーの皆さんの支えで私は生活していきます。これまでの4年間だけでは、十分に理解が出来ていない日本人の心をこれから2年間で完全にわかるということはできないかもしれませんが、ロータリアンの皆さまとのかかわりでその心に少しでも近づくことができたらなあと思います。